

2026 年度 向上心醸成委員会

委員長 齋川 祥悟

1. 運営方針

「企業は人なり」。パナソニックホールディングス創始者である経営の神様こと松下幸之助氏の言葉です。時代を超えて普遍的な価値を持つ経営理念です。企業が持続的な成長を遂げるためには、人財育成に力を入れるとともに、多様な人財が活躍できるような組織文化を構築することが不可欠です。熊谷青年会議所も「個」である多種多様な「人」という存在があって初めて成り立つ組織であり、「個」の成長なくして熊谷青年会議所の発展は望めません。熊谷青年会議所が地域を力強く牽引し、地域から求められる魅力的な組織になるためには、まさしく我々一人ひとりの成長が鍵を握っています。

しかし、近年、熊谷青年会議所は会員数の減少が進み、組織の発展を担う人財が不足しているという問題を抱えています。それは多種多様な人財の減少による新たな発想の創出機会の喪失、一人ひとりの活動量が増えることによる会員自身の負担増加、そして熊谷青年会議所として地域を力強く牽引し、発展し続けるうえで大きな障壁となってしまいます。

本年度、向上心醸成委員会では拡大対象者が熊谷青年会議所に対して魅力を感じ、前向きに入会を志願いただけるよう活動していきます。そのためには、まずは私たち既存会員一人ひとりが自身の能力・情熱をこれまで以上に高め、向上心を持ちながら成長し続けることが重要であると考えます。私たちがいかなる時代においても、向上心の気持ちを忘れず、前向きに活動する姿を地域社会および入会を検討されている方に示すことができれば、熊谷青年会議所としての魅力・価値が高まり、自ずと志を同じくする仲間が増えるはずです。同時に、私たちの活発な活動や姿を地域の皆様に幅広く情報発信し、認知を高めることで熊谷青年会議所としての魅力を理解していただき、共感を得る努力を行ってまいります。また、新しく入会された会員が入会後も自身の成長を感じながら楽しく前向きに活動できるよう交流の機会を大切にし、お互いが切磋琢磨し合いながら成長し合える環境を整えてまいります。

最後に、向上心醸成委員会では「楽しく前向きに」をテーマとして掲げ活動して参ります。会員数が増えることによって多種多様な意見・考えの交流の機会が生まれ、新たな発見や知識・教養の醸成につながります。また、一人ひとりの活動量が適切に分配されることによって、各々が役割をしっかりと把握し、JC 活動に対してのびのびと前向きに取り組む機運が生まれ、公私ともにバランスのとれた活動ができると考えます。会員一人ひとりが楽しく前向きに活動に励み、地域で輝く組織、そのような熊谷青年会議所を私たちは全力で目指して活動して参ります。

2. 事業計画

- (1) 2026 年度拡大プロジェクトの実施
- (2) 1 年間の手法を共有し、拡大運動に参画していただく例会の実施
- (3) 熊谷青年会議所のメリットや魅力を理解していただく例会の実施
- (4) SNS を活用した情報発信
- (5) 卒業式の実施